

環境都市宣言について

■経緯

本市では市制 50 周年の平成 17 年 11 月 19 日「環境フェア」にて市長が中学生とともに環境都市宣言（現宣言）を行っています。

参考

市制 60 周年（平成 27 年 5 月 17 日）
こども夢・チャレンジ No.1 都市宣言

また本市では令和 3 年 5 月に尾張地域で初のSDGs未来都市に内閣府より選定され、令和 3 年 6 月、2050 年を目途に二酸化炭素排出量実質ゼロを目標とする「ゼロカーボンシティ」を表明しました。

■課題

環境都市宣言を行ってから 20 年近く経過し、環境を取り巻く状況は大きく変化しています。

私たちが生きる地球では人類の経済活動に伴い、地球温暖化による気候変動や森林の減少、砂漠化、海洋プラスチックごみなど地球をとりまく環境問題は深刻化し、世界規模での早急な対応が求められています。人類の生存を脅かす環境破壊の進行を食い止め、未来の子どもたちに豊かで美しい地球を残すために、その原因が、日常生活や事業活動に起因していることを、私たちは改めて認識し、ごみ減量化や二酸化炭素の排出量削減、カーボンニュートラルの実現に向け市民一人ひとりが取り組むことが必要です。

■新環境都市宣言の方向性

市制 50 周年に行った環境都市宣言の元、私たち小牧市民は「環境都市こまき」を目指して取り組んでまいりました。その取り組みを継承しつつ、新たな課題に立ち向かうため現行宣言のリニューアルを行います。



↑環境都市宣言（市制 50 周年）